

2011.06.24.

AM7:50~

	0m	1m	0m-1m
グラウンド	170.20	164.20	6.00
平均値の標準偏差	2.15	1.93	
#1	164	165	
#2	168	165	
#3	176	170	
#4	169	163	
#5	174	158	

	0m	1m	0m-1m
砂場	168.80	168.40	0.40
平均値の標準偏差	7.08	4.98	
#1	152	183	
#2	158	175	
#3	168	169	
#4	173	157	
#5	193	158	

	0m	1m	0m-1m
雨どい下	158.60	170.00	-11.40
平均値の標準偏差	3.59	2.19	
#1	154	165	
#2	151	173	
#3	155	176	
#4	162	171	
#5	171	165	

	0m	1m	0m-1m
雨どいそば 避難スロープ下	196.20	168.00	28.20
平均値の標準偏差	4.40	1.90	
#1	205	165	
#2	196	171	
#3	203	165	
#4	197	165	
#5	180	174	

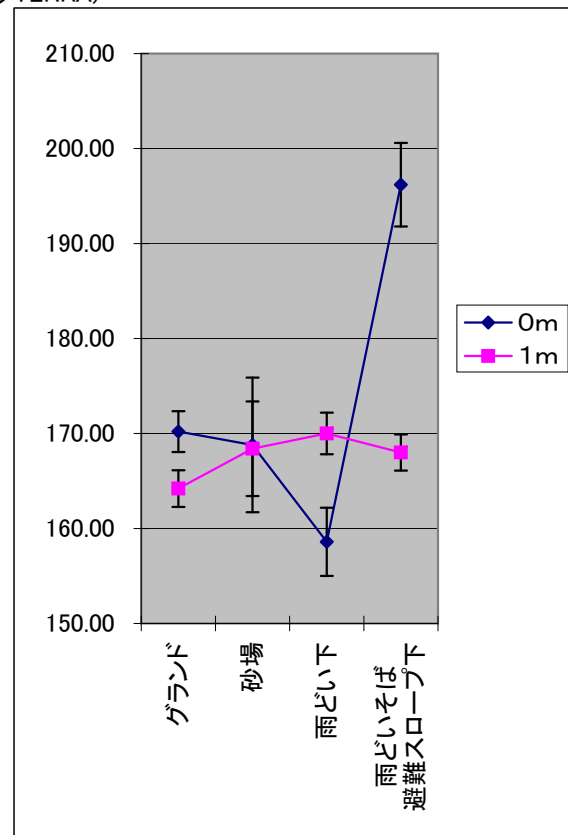
入口滑り台	-	-	
ブランコ	-	-	
避難用スロープ	-	-	

参考値(ウクライナ製GMカウンタTERRA)

0m(1cm) 1m

0.11 0.11 $\mu\text{Sv/h}$ 0.13 - $\mu\text{Sv/h}$ 0.12 - $\mu\text{Sv/h}$

0.10	0.10	$\mu\text{Sv/h}$
0.10-0.11	0.10-0.11	$\mu\text{Sv/h}$
0.11	0.11	$\mu\text{Sv/h}$



ウクライナ製のGMカウンタでも測定をしましたが、感度が不十分のため参考値としました。

0m(地表)が高く、1mで低い場合、地表が汚染されていることを意味します。

特に雨樋近くの避難スロープ付近の汚染が目立ちます。

170cpmが $0.11 \mu\text{Sv/h}$ と換算すると、この場所での0m(地表)の値;196.2cpmはおおよそ $0.13 \mu\text{Sv/h}$ です。

雨どい下では0m(地表)での値;158.6は $0.10 \mu\text{Sv/h}$;むしろ低くなっています。

このことから福1起源の放射性物質が甲府まで到達して雨とともに降下し、雨樋下を洗って滞るところに濃縮されたと推察されます。

;核種は特定できませんがチェルノブイリのデータなどからセシウムと考えられます。

雨樋近くの避難スロープ付近 $0.13 \mu\text{Sv/h}$ と普通の空中の $0.11 \mu\text{Sv/h}$ の差が小さいと考えるのは危険です。

汚染された砂、粉塵は吸入により**内部被曝**の原因となるからです;下の解説をご覧ください。(内部被曝は空間線量率($\mu\text{Sv/h}$)では表現できません。)

内部被曝の対策;幼児を雨どいの近くの砂で遊ばせない。

内部被曝をふくむ放射能の分かりやすい解説は以下にあります:

矢ヶ崎克馬琉球大学名誉教授の国会議員への講義;外部・内部被曝の解説(3分割);お急ぎの場合、1/3の7分過ぎあたりからどうぞ。

<http://www.youtube.com/watch?v=hFXBI77g9-k&feature=related>

放射能て何?Q&A;絵をたくさんつけた小冊子。

<http://sky.geocities.jp/yuka37jp/>